

2022年度第2四半期 決算補足資料

2022年11月11日

DOWAホールディングス株式会社

経営成績

■ 連結損益計算書

単位：億円（億円未満切捨て）

	2021年度上期	2022年度上期				前年同期比	
	実績	8/10予想	実績	増減			
売上高	4,232	4,050	4,018	△ 31	△ 1%	△ 214	△ 5%
営業利益	379	310	300	△ 9	△ 3%	△ 79	△ 21%
経常利益	474	375	369	△ 5	△ 1%	△ 105	△ 22%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	325	233	227	△ 5	△ 2%	△ 98	△ 30%

■ 為替・金属価格

	2021年度			2022年度		
	1Q平均	2Q平均	上期平均	1Q平均	2Q平均	上期平均
為替：(¥/\$)	109.5	110.1	109.8	129.6	138.4	134.0
銅：(\$/t)	9,711	9,372	9,541	9,526	7,742	8,634
亜鉛：(\$/t)	2,916	2,991	2,954	3,925	3,269	3,597
インジウム：(\$/kg)	198	209	204	240	230	235

事業環境（2022年度2Q）

廃棄物・リサイクル関連

- ・廃棄物処理の受注は堅調
- ・リサイクル原料の集荷は堅調、家電リサイクルの処理量は前年同期比で減少

自動車関連

- ・自動車の生産が低調であることから、一部の自動車関連製品・サービスの需要は調整局面が継続

新エネルギー関連

- ・太陽光パネルの汎用化が進んだことによる競争環境の変化により、太陽光パネル向け銀粉の販売は減少

電子部品関連

- ・中国市場の停滞により、情報通信関連製品向けの販売が減少

為替相場・金属価格

- ・平均為替レートは前年同期比で大幅な円安ドル高で推移
- ・亜鉛の平均価格は上昇し、銅や貴金属の平均価格は下落

エネルギー・資材価格

- ・世界的なエネルギー価格の高騰や資材価格の上昇を受け、電力代や燃料費、副資材費等のコストが増加

主要製品の動向

※2021年度1Qを100として指数化

		2021年度				2022年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
環境・ リサイクル	国内廃棄物中間処理量	100	101	105	94	105	92
	リサイクル原料集荷量 (小坂製錬向け)	100	83	86	88	91	97
	東南アジア廃棄物処理額	100	106	110	125	100	104
製錬	銅生産量 (小坂製錬・小名浜製錬合計)	100	102	94	112	123	109
	亜鉛生産量	100	74	102	99	100	71
電子材料	LED販売量	100	166	156	133	223	171
	銀粉販売量	100	128	99	101	93	64
金属加工	伸銅品販売量	100	100	103	96	98	93
熱処理	熱処理加工売上高	100	102	103	109	103	107
	工業炉売上高	100	144	178	338	119	167

セグメント別損益（2022年度上期）前年同期比

単位：億円（億円未満切捨て）

	2021年度 上期			2022年度 上期			増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・ リサイクル	660	66	65	715	52	58	54	△ 13	△ 7	・燃料費や副資材費の増加 ・労務費や減価償却費の増加 ・為替差益の計上
製錬	2,318	231	271	2,246	177	235	△ 72	△ 53	△ 35	・PGM回収量の減少 ・電力単価の上昇 ・円安による増益
電子材料	961	30	36	756	28	38	△ 205	△ 2	1	・近赤外LED・PDの増販 ・銀粉の減販 ・為替差益の計上
金属加工	537	37	39	585	32	34	48	△ 4	△ 4	・自動車関連製品・サービスや 情報通信関連製品の減販 ・電力代や燃料費の増加
熱処理	124	9	11	132	4	7	8	△ 5	△ 3	・電力代や燃料費の増加
その他、 全社・消去	△ 370	4	50	△ 418	4	△ 6	△ 48	0	△ 56	・持分法適用関連会社である 藤田観光(株)の利益減
合計	4,232	379	474	4,018	300	369	△ 214	△ 79	△ 105	

経常利益の要因別分析

単位：億円（億円未満切捨て）

2022年度2Q累計 - 2021年度2Q累計	環境・ リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計
施策効果・販売増減など	△ 1	△ 20	△ 13	△ 0	△ 0	2	△ 33
うち実収差量（数量差）	-	△ 27	-	-	-	-	△ 27
実収差量（金属価格単価差）	-	△ 12	-	-	-	-	△ 12
外貨建収入為替差	-	42	15	-	-	-	57
原料条件（条件差）	-	△ 16	-	-	-	-	△ 16
払出時価簿価差・期末時価評価差	-	△ 9	-	△ 0	-	-	△ 9
電力代	-	△ 23	-	-	-	-	△ 23
製造原価（減価償却費他）・販管費・開発研究費	△ 12	△ 13	△ 4	△ 3	△ 4	△ 1	△ 40
営業利益増減	△ 13	△ 53	△ 2	△ 4	△ 5	0	△ 79
営業外収支の影響							
・持分法損益	△ 1	4	△ 0	△ 0	-	△ 58	△ 56
・その他	8	13	4	1	1	0	30
経常利益増減	△ 7	△ 35	1	△ 4	△ 3	△ 56	△ 105

セグメント別損益（2022年度上期）8/10予想比

単位：億円（億円未満切捨て）

	2022年度 上期予想（8/10公表）			2022年度 上期実績			増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・ リサイクル	705	55	60	715	52	58	10	△ 2	△ 1	・自動車リサイクルの処理減
製 錬	2,260	170	226	2,246	177	235	△ 13	7	9	・金属価格の上昇
電 子 材 料	745	35	44	756	28	38	11	△ 6	△ 5	・近赤外LED・PDの減販
金 属 加 工	600	38	41	585	32	34	△ 14	△ 5	△ 6	・四半期末の評価替えによる デリバティブ評価益の縮小
熱 処 理	135	3	7	132	4	7	△ 2	1	0	-
そ の 他 、 全 社 ・ 消 去	△ 395	9	△ 3	△ 418	4	△ 6	△ 23	△ 4	△ 3	・販管費の増加
合 計	4,050	310	375	4,018	300	369	△ 31	△ 9	△ 5	

連結貸借対照表

単位：億円（億円未満切捨て）

	2022年 3月末	2022年 9月末	増減		2022年 3月末	2022年 9月末	増減
流動資産	3,830	3,790	△ 39	流動負債	2,282	2,179	△ 103
				固定負債	1,004	880	△ 124
固定資産	2,742	2,824	82	自己資本	3,134	3,419	284
				非支配株主持分	151	136	△ 14
総資産	6,572	6,615	42	負債・純資産計	6,572	6,615	42
				有利子負債	1,316	1,420	103
				自己資本比率 (%)	47.7	51.7	4.0

- ✓ 製錬部門を中心とした設備投資に伴う固定資産の増加などにより、当期末の総資産額は前期末比+42億円の6,615億円となった。
- ✓ 当期末の自己資本比率は前期末比+4.0ポイントの51.7%となった。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円（億円未満切捨て）

	2021年度 上期	2022年度 上期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	157	261	103
税金等調整前四半期純利益	483	364	△ 118
減価償却費	106	111	4
法人税等	△ 107	△ 199	△ 92
棚卸資産	△ 37	96	134
その他	△ 286	△ 110	175
投資活動によるキャッシュ・フロー	29	△ 160	△ 190
設備投資	△ 156	△ 160	△ 3
その他投資	186	△ 0	△ 187
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 35	△ 28	7
キャッシュフロー計	151	71	△ 79

2022年度 通期業績予想

単位：億円（億円未満切捨て）

	2021年度 実績 ①	2022年度 予想			増減 (③ - ①)
		8/10公表 ②	今回公表 ③	増減 (③ - ②)	
売上高	8,317	8,460	7,850	△ 610 △7%	△ 467 △6%
営業利益	638	585	470	△ 115 △20%	△ 168 △26%
経常利益	760	680	570	△ 110 △16%	△ 190 △25%
親会社株主に帰属する 当期純利益	510	430	350	△ 80 △19%	△ 160 △31%

2022年度下期について、自動車関連製品及びサービスや環境・リサイクル関連サービスは前回予想並みの需要を想定しているものの、情報通信関連製品や新エネルギー関連製品の需要は低調に推移すると予想しています。相場環境については、金属価格は前回予想をやや下回る水準で推移し、為替相場は前回予想よりも円安ドル高で推移すると見込んでいます。一方で、世界的なエネルギー価格の高騰や資材価格の上昇を受け、電力代や燃料費、副資材費などは前回予想を大きく上回る水準で推移する見通しです。

上期の実績及びこれらの事業環境を勘案した結果、2022年度通期の業績予想を修正しました。

セグメント別損益（2022年度通期） 8/10予想比

単位：億円（億円未満切捨て）

	2022年度 予想（8/10公表）			2022年度 予想（今回公表）			増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・ リサイクル	1,365	109	115	1,445	96	104	80	△ 13	△ 11	・燃料費や副資材費の増加
製 錬	4,745	296	380	4,520	251	337	△ 225	△ 45	△ 43	・電力単価の上昇 ・PGM回収量の減少
電 子 材 料	1,600	70	85	1,185	39	57	△ 415	△ 31	△ 28	・銀粉の減販 ・記録材料の減販
金 属 加 工	1,190	74	78	1,160	54	59	△ 30	△ 20	△ 19	・情報通信関連製品の減販 ・デリバティブ評価益の縮小
熱 処 理	305	23	27	310	20	23	5	△ 3	△ 4	・国内熱処理加工の受注減 ・電力代や燃料費の増加
そ の 他 、 全 社 ・ 消 去	△ 745	13	△ 5	△ 770	10	△ 10	△ 25	△ 3	△ 5	・販管費の増加
合 計	8,460	585	680	7,850	470	570	△ 610	△ 115	△ 110	

セグメント別損益（2022年度通期）前年比

単位：億円（億円未満切捨て）

	2021年度 実績			2022年度 予想（今回公表）			増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・リサイクル	1,350	126	136	1,445	96	104	94	△ 30	△ 32	・燃料費や副資材費の増加 ・労務費や減価償却費の増加
製錬	4,556	361	427	4,520	251	337	△ 36	△ 110	△ 90	・金属価格の下落、円安ドル高 ・電力単価の上昇 ・労務費や減価償却費の増加
電子材料	1,753	52	65	1,185	39	57	△ 568	△ 13	△ 8	・近赤外LED・PDの増販 ・銀粉の減販 ・研究開発費の増加
金属加工	1,119	63	68	1,160	54	59	40	△ 9	△ 9	・情報通信関連製品の減販 ・電力代や燃料費の増加
熱処理	289	26	30	310	20	23	20	△ 6	△ 7	・電力代や燃料費の増加
その他、 全社・消去	△ 751	7	32	△ 770	10	△ 10	△ 18	2	△ 42	・持分法適用関連会社である 藤田観光(株)の利益減
合計	8,317	638	760	7,850	470	570	△ 467	△ 168	△ 190	

セグメント別損益（2022年度通期）

単位：億円（億円未満切捨て）

	2022年度 上期実績			2022年度 下期予想			2022年度 通期予想		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・ リサイクル	715	52	58	729	43	45	1,445	96	104
製錬	2,246	177	235	2,273	73	101	4,520	251	337
電子材料	756	28	38	428	10	18	1,185	39	57
金属加工	585	32	34	574	21	24	1,160	54	59
熱処理	132	4	7	177	15	15	310	20	23
その他、 全社・消去	△ 418	4	△ 6	△ 351	5	△ 3	△ 770	10	△ 10
合計	4,018	300	369	3,831	169	200	7,850	470	570

前提条件・感応度（2022年度下期）

感応度（営業利益/下期）

単位：億円

	前提条件	変動幅	感応度
為替	145.0 円/\$	±1 円/\$	3.1
銅	7,500 \$/t	±100 \$/t	0.2
亜鉛	2,900 \$/t	±100 \$/t	2.4
インジウム	210 \$/kg	±10 \$/kg	0.3

※為替感応度の内訳は、製錬部門2.6億円、電子材料部門0.5億円です。

為替、金属価格

	2021年度			2022年度				(参考)
	上期平均	下期平均	年度平均	上期前提	上期平均	下期前提	年度平均	2022年 10月平均
為替：(円/\$)	109.8	115.0	112.4	133.3	134.0	145.0	139.5	147.2
銅：(\$/t)	9,541	9,842	9,691	8,513	8,634	7,500	8,067	7,621
亜鉛：(\$/t)	2,954	3,554	3,254	3,462	3,597	2,900	3,248	2,960
インジウム：(\$/kg)	204	254	229	237	235	210	222	212

感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

投資の状況

単位：億円（億円未満切捨て）

	2019年度			2020年度			2021年度			2022年度 上期			2022年度 通期		
	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計												
環境・リサイクル	206	3	210	181	4	185	102	4	107	32	2	35	90	6	96
製 錬	74	9	83	71	6	77	91	13	104	57	6	64	115	28	143
電 子 材 料	28	43	72	59	42	102	39	41	81	19	22	42	55	47	102
金 属 加 工	62	6	68	37	7	45	47	7	54	19	3	23	54	8	62
熱 処 理	43	1	45	16	2	18	15	2	18	6	1	7	12	3	15
全社、その他	11	△ 1	10	26	0	25	29	0	30	19	2	21	36	3	39
合計	426	63	490	392	63	455	326	70	396	155	39	194	364	96	460

※製錬の研究開発投資額には、鉱山開発投資を含んでいます。

(参考) 減価償却費

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022年度 上期	2022年度 通期
環境・リサイクル	54	58	73	36	79
製 錬	42	44	46	25	62
電 子 材 料	31	29	39	16	41
金 属 加 工	30	32	33	15	34
熱 処 理	25	26	24	12	23
全社、その他	8	8	8	4	11
合計	192	200	225	111	252

■ 2022年度の主な投資

- 環境・リサイクル：焼却設備の維持更新
- 製錬：インフラ整備、製錬設備の維持更新
- 電子材料：半導体等生産設備の増強
- 金属加工：伸銅品生産設備の増強
- 全社：基幹業務システムの更新

(参考) ヒストリカルデータ

■ 連結財務数値

単位：億円（億円未満切捨て）

		2020年度					2021年度					2022年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度
合計	売上高	1,154	1,370	1,511	1,844	5,880	2,079	2,153	1,886	2,198	8,317	2,099	1,918	-	-	-
	営業利益	49	76	111	137	374	196	182	143	115	638	193	107	-	-	-
	経常利益	33	59	123	155	372	282	192	170	115	760	232	136	-	-	-
	親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	1	14	68	133	218	199	126	115	69	510	130	96	-	-	-
環境・リサイクル	売上高	277	287	290	319	1,176	338	322	331	358	1,350	365	350	-	-	-
	営業利益	18	18	22	25	84	31	35	37	22	126	31	20	-	-	-
	経常利益	21	12	24	28	86	30	35	42	28	136	34	23	-	-	-
製錬	売上高	604	635	693	887	2,820	1,182	1,136	976	1,261	4,556	1,150	1,095	-	-	-
	営業利益	34	42	51	74	203	128	103	68	61	361	112	65	-	-	-
	経常利益	33	52	73	99	259	147	124	88	68	427	143	92	-	-	-
電子材料	売上高	238	385	412	476	1,512	439	522	401	389	1,753	450	305	-	-	-
	営業利益	6	2	7	7	24	10	20	11	9	52	18	9	-	-	-
	経常利益	10	6	9	10	36	13	23	15	13	65	25	13	-	-	-
金属加工	売上高	149	161	220	246	778	264	272	287	294	1,119	295	290	-	-	-
	営業利益	△ 4	10	21	16	43	21	15	16	9	63	25	7	-	-	-
	経常利益	△ 3	10	21	17	46	22	16	17	11	68	27	7	-	-	-
熱処理	売上高	39	57	58	76	231	58	65	70	94	289	62	70	-	-	-
	営業利益	△ 9	2	6	8	7	3	5	6	9	26	1	3	-	-	-
	経常利益	△ 10	3	5	10	8	4	6	7	11	30	3	4	-	-	-
その他、 全社・消去	売上高	△ 155	△ 156	△ 164	△ 161	△ 639	△ 203	△ 167	△ 181	△ 200	△ 751	△ 224	△ 193	-	-	-
	営業利益	2	0	2	4	10	1	2	1	1	7	3	0	-	-	-
	経常利益	△ 17	△ 25	△ 10	△ 12	△ 65	64	△ 13	0	△ 17	32	0	△ 5	-	-	-

■ 為替、金属価格

	2020年度					2021年度					2022年度				
	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均
為替：(¥/\$)	107.6	106.2	104.5	105.9	106.1	109.5	110.1	113.7	116.2	112.4	129.6	138.4	-	-	-
銅：(\$/t)	5,341	6,521	7,174	8,479	6,879	9,711	9,372	9,698	9,985	9,691	9,526	7,742	-	-	-
亜鉛：(\$/t)	1,959	2,340	2,631	2,748	2,419	2,916	2,991	3,365	3,743	3,254	3,925	3,269	-	-	-
インジウム：(\$/kg)	146	148	174	197	166	198	209	260	247	229	240	230	-	-	-

DOWA

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。